

諏訪湖創生ビジョン推進事業

環境部 農政部 建設部

1 目的

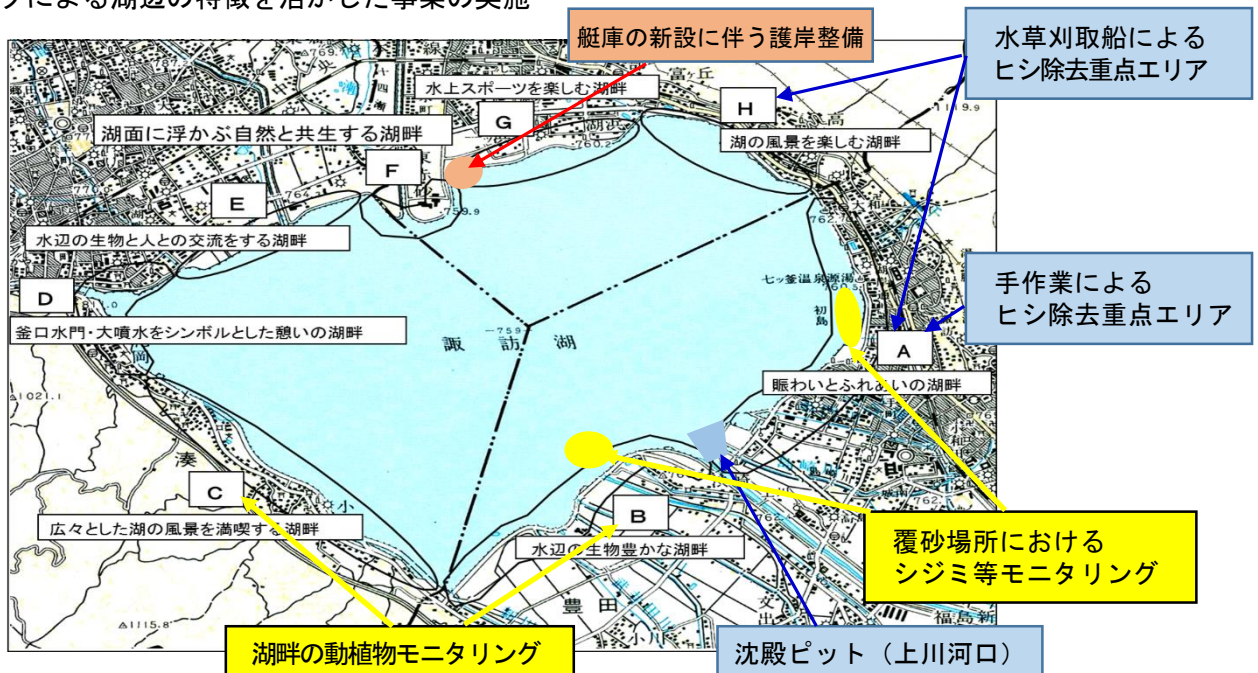
「泳ぎたくなる諏訪湖」「シジミが採れる諏訪湖」「誰もが訪れたくなる諏訪湖」に向けた環境改善

2 事業の概要

○「諏訪湖創生ビジョン」の目指す姿と課題解決に向けた対策

<目指す姿>	<課題等>	<H31年度の主な取組>
<p>泳ぎたくなる諏訪湖 (清らかで人々が親しむことができる湖水・湖辺)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○夏場を中心に貧酸素水塊が発生し、底生生物等に影響 ○COD、全窒素等の環境基準が未達成 ○流域全体を視野に入れた水質保全対策が必要 ○ヒシの大量繁茂による湖岸域の貧酸素化、景観の悪化、水生生物への影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○貧酸素及び水質浄化に係るデータの蓄積 ○AIを活用した貧酸素水塊の発生・拡大条件の分析 ○底層溶存酸素量の類型指定に向けた貧酸素・底質改善手法の検証 ○沈殿ピット、植生水路による流入負荷削減 ○重点的なヒシ対策
<p>シジミが採れる諏訪湖 (多種多様な生き物を育む湖)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「エゴ」が喪失 ○在来種など生物多様性の確保が必要 ○漁獲量の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ○湖畔における動植物モニタリング調査 ○覆砂場所におけるシジミ生育調査等 ○漁業の振興
<p>誰もが訪れたくなる諏訪湖 (人々が憩い、やすらげる水辺空間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○過去の護岸整備等により親水性が失われ、湖と住民との関係が疎遠に ○水辺整備と湖の利活用により湖と住民等との関係性の再構築が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○サイクリング基本計画に基づく湖畔整備 ○艇庫の新設に伴う護岸整備
<p>諏訪湖の恵みを知り、育つ学びの場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○水質や生態系について未解明な点が多い ○関係する組織・機関の一層の連携が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○「諏訪湖環境研究センター」(仮称)あり方検討

○ゾーニングによる湖辺の特徴を活かした事業の実施



諏訪湖の整備と利活用の方向性を示す「諏訪湖の水辺整備基本計画」で設定された8つのエリアと事業実施場所

3 事業内容

■泳ぎたくなる諏訪湖

▶ 貧酸素及び水質浄化に係る測定・調査研究・対策事業

課 題	事 業 内 容
○夏場を中心に貧酸素水塊が発生し、底生生物等に影響	・湖内の溶存酸素量（D0）連続測定〔環〕
○COD、全窒素等の環境基準が未達成	・底質性状に関する調査研究（信大と連携）〔環〕
○流域全体を視野に入れた水質保全対策が必要	・動植物プランクトン調査〔環・農〕
	・流入河川汚濁負荷実態調査（宮川流域）〔環〕
	・流入河川水量調査〔環〕 など
	【新】AIを活用した貧酸素水塊の発生・拡大条件の分析〔環〕
	【新】貧酸素・底質改善の検証（ナノバブル）〔環〕
	・植生水路・沈殿ピット〔建〕
	・覆砂〔建〕（Hゾーン）

▶ ヒシの大量繁茂に対する対策

課 題	事 業 内 容
ヒシの大量繁茂による湖岸域の貧酸素化、景観の悪化、水生生物への影響	・水草刈取船によるヒシ除去等〔建〕
	・手作業によるヒシ抜き取り〔環〕
	【新】ヒシの実活用推進事業〔地〕

■シジミが採れる諏訪湖

課 題	事 業 内 容
○「エゴ」が喪失	・覆砂場所周辺の動植物等調査〔環・農〕
○在来種など生物多様性の確保が必要	・湖畔の動植物モニタリング〔環・建〕（B・Cゾーン）
○漁獲量の減少	・ワカサギ・シジミ等調査〔農〕
	【新】水辺の昆虫のモニタリング〔地〕

■誰もが訪れたい諏訪湖

課 題	事 業 内 容
○過去の護岸整備等により親水性が失われ、湖と住民との関係が疎遠に	・艇庫の新設に伴う護岸整備〔建〕（Gゾーン）
○水辺整備と湖の利活用により湖と住民等との関係性の再構築が必要	・サイクリングロード基本計画に基づく整備〔建〕

■調査研究・学びの推進

課 題	事 業 内 容
○水質や生態系について未解明な点が多い	・「諏訪湖環境研究センター」（仮称）あり方検討〔環〕
○関係機関等の一層の連携が必要	